

問1 室町幕府の統治システムに関する説明として、その職務の内容が最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2024年 岐阜

公立入試 類似）

1. 将軍の直下に置かれた最高職であり、有力な守護大名が交代で就任して侍所や政所などの中央機関を統括した。
2. 江戸に置かれた幕府の役職であり、譜代大名が交代で就任して幕領の支配や外交事務を統括した。
3. 鎌倉幕府において北条氏が独占した役職であり、将軍に代わって実権を握り幕府の政務を代行した。
4. 京都の警備や朝廷の監視を主な任務とし、六波羅探題に代わって幕府の意思を天皇に伝える役割を担った。

問2 15世紀の東アジアにおいて、琉球王国は日本、中国（明）、朝鮮半島、東南アジアの国々を繋ぐ役割を担い繁栄しました。当時の琉球王国が中国（明）などへの朝貢貿易において輸出した、火山活動によって得られる特産品はどれですか。（2024年 沖縄公立

入試 類似）

1. 硫黄
2. 象牙
3. 武器
4. 陶磁器

問3 室町時代に足利義満によって始められた勘合貿易において、現在の大阪府にある堺とともに貿易の拠点として繁栄した、九州北部の港町はどこか。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 博多
2. 長崎
3. 兵庫
4. 平戸

問4 日本海を経由する海上交易の拠点の一つで、本州北端の津軽半島の付け根、日本海側に位置した港町の歴史的特徴として正しいものはどれか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 安藤氏が支配し、北方交易と日本海交易の結節点として発展した。
2. 日明貿易の拠点となり、会合衆と呼ばれる有力商人による自治が行われた。
3. 遣明船の発着地として栄え、町衆と呼ばれる裕福な商工業者が都市を運営した。
4. 奥州藤原氏によって建立された中尊寺金色堂などの仏教文化が開いた。

問5 室町時代、銀閣（慈照寺）に代表される東山文化の特色について述べた文として、庭園や建築の背景をふまえたものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 禅宗の考え方が普及し、石や砂によって自然を表現する枯山水の庭園や、畳を敷き詰めた書院造などの様式が生まれた。
2. 大陸との貿易によって得た富を背景に、金閣に代表されるような、貴族の文化と武士の文化が融合した華やかな文化が栄えた。
3. 仏教の浄土教の広まりを背景に、極楽浄土の様子を再現しようとする池泉回遊式の大きな庭園が数多く作られた。
4. 町衆と呼ばれる豊かな商工業者が文化の担い手となり、浮世絵や人形浄瑠璃といった庶民の生活に密着した文化が発展した。

問6 平安時代の初期、遣唐使に従って唐に渡った最澄や空海は、当時の中国で流行していた新しい仏教を日本に伝えました。このうち、空海が帰国後に高野山を拠点として広めた教えを何といいますか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 真言宗（密教）
2. 浄土宗
3. 天台宗
4. 禅宗

問7 室町時代に土一揆が頻発し、徳政令が求められるようになった社会的な背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 貨幣経済が発展し、土倉や酒屋などの高利貸しから借金をして苦しむ民衆が増えたため
2. 幕府がキリスト教を禁止したことで、信仰の自由を求める農民が反乱を起こしたため
3. 武士の間で実力主義が広まり、下の者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が広まったため
4. 新田開発が進んだことで、土地の境界線をめぐる農民同士の争いが激化したため

問8 足利義満が明（中国）との間で開始した日明貿易では、「勘合」と呼ばれる札が使用されました。この札が導入された主な目的として適切なものはどれですか。（2022年 岐阜公立入試 類似）

1. キリスト教の布教を目的とした宣教師の入国を阻止するため
2. 正式な貿易船と、倭寇（わこう）と呼ばれる海賊船を区別するため
3. 明の通貨である宋銭を日本国内で流通させることを禁止するため
4. 輸入品である鉄砲やキリスト教関連の物品に高い関税をかけるため

問9 南北朝時代、後醍醐天皇が京都から南に数十キロメートル離れた、峻険な山々に囲まれ平野部から隔離された地形を持つ吉野を拠点に選んだ理由として、最も適切なものはどれか。（2025年 山梨公立入試 類似）

1. 北朝や武士勢力の影響を避け、防御を固めるのに適した環境だったから
2. 大陸との貿易を行うための港が整備されており、経済力が豊富だったから
3. 有力な町衆による自治が行われており、天皇の政治を支える基盤があったから
4. 大規模な銀山が存在し、軍資金となる資源を確保しやすかったから

答え合わせ・解説

問1	答え 1 将軍の直下に置かれた最高職であり、有力な守護大名が交代で就任して侍所や政所などの中央機関を統括した。	室町幕府の組織において、将軍を補佐する最高職である管領は、侍所（軍事・警察）、政所（財政）、問注所（記録・訴訟）といった幕府の中枢機能を統括する立場にありました。この職には、足利氏の一族である細川・斯波・畠山の三氏という、特に勢力の強い守護大名が任命されました。他の選択肢にある老中（江戸幕府）や執権（鎌倉幕府）とは、設置された時代や任命される家柄の背景が異なります。
問2	答え 1 硫黄	琉球王国は、琉球列島の火山活動によって得られる硫黄を、中国（明）への重要な朝貢品として輸出していました。硫黄は火薬の原料となるため、当時の東アジアにおいて軍事的に極めて需要の高い戦略物資でした。一方、象牙は東南アジアからの輸入品であり、陶磁器は中国からの輸入品として、琉球による中継貿易で扱われていました。
問3	答え 1 博多	勘合貿易（日明貿易）において、遣明船の発着拠点として特に重要な役割を果たしたのは博多（福岡県）と堺（大阪府）である。博多は古くから大陸との交流の窓口であり、室町時代には年行司と呼ばれる豪商たちによる自治が行われていた。長崎や平戸が貿易港として本格的に発展するのは、後の南蛮貿易や江戸時代の貿易においてである。兵庫（大輪田泊）は、平清盛による日宋貿易の拠点として知られる。
問4	答え 1 安藤氏が支配し、北方交易と日本海交易の結節点として発展した。	津軽半島の日本海側に位置する十三湊は、アイヌの人々が住む地域との窓口として機能し、日本海側の諸港を結ぶ交易ネットワークの中心地であった。発掘調査では中国産の陶磁器なども多く出土しており、その繁栄ぶりが裏付けられている。選択肢にある「堺」や「博多」といった西日本の港町、奥州藤原氏の拠点である「平泉」とは地理的・歴史的役割が異なる。
問5	答え 1 禅宗の考え方が普及し、石や砂によって自然を表現する枯山水の庭園や、畳を敷き詰めた書院造などの様式が生まれた。	東山文化は、足利義政が京都の東山に山荘（銀閣）を建てた時期の文化で、禅宗の影響による「わび・さび」という簡素で深みのある美意識が特徴です。枯山水の庭園だけでなく、同仁齋に代表される書院造など、現代の和風建築の基礎となる様式がこの時期に確立されました。
問6	答え 1 真言宗（密教）	空海は唐の都である長安で密教の奥義を学び、帰国後に真言宗を開きました。一方、最澄は比叡山を拠点に天台宗を広めました。これらは平安貴族の現世利益（目に見える幸せ）を願う信仰と結びつき、広く受け入れられました。
問7	答え 1 貨幣経済が発展し、土倉や酒屋などの高利貸しから借金をして苦しむ民衆が増えたため	室町時代には農業技術の向上や商業の発展により、お金（貨幣）を使って物売り買いする経済が普及しました。しかし、天候不順による飢饉などが重なると、生活が苦しくなった農民は土倉（質屋）や酒屋（金融業者を兼ねていた）から高い利息で借金をするようになりました。返済が不可能になった農民たちは、地縁に基づいた団結力を強めて「一揆」を結成し、社会の仕組みを根本からリセットする徳政令の発布を求めました。
問8	答え 2 正式な貿易船と、倭寇（わこう）と呼ばれる海賊船を区別するため	当時、東アジア沿岸では倭寇による略奪行為が問題となっており、明は日本に対してその取り締まりを要求していました。義満はこれに応じ、勘合を照合させることで正式な朝貢船であることを証明する仕組み（勘合貿易）を整えました。
問9	答え 1 北朝や武士勢力の影響を退け、防御を固めるのに適した環境だったから	吉野は近畿地方の中でも険しい山岳地帯に位置しており、平野部に展開する武士の軍勢から攻撃を受けにくい天然の要塞となっていました。この地理的条件を活かすことで、後醍醐天皇は京都を占拠した足利尊氏氏北朝勢力に対し、長期にわたって抵抗を続けることが可能となりました。